



# 平成24年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)



平成23年10月31日

上場会社名 オークマ株式会社

上場取引所 東 名

コード番号 6103 URL <http://www.okuma.co.jp>

代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 花木 義麿

問合せ先責任者 (役職名) 取締役経理・企画部長兼経営企画室長 (氏名) 堀江 親

TEL 0587-95-7822

四半期報告書提出予定日 平成23年11月11日

配当支払開始予定日

平成23年11月30日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成24年3月期第2四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年9月30日)

### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第2四半期	64,426	51.0	3,699	—	3,118	—	2,167	—
23年3月期第2四半期	42,668	43.2	△1,558	—	△2,067	—	△3,234	—

(注) 包括利益 24年3月期第2四半期 △328百万円 (—%) 23年3月期第2四半期 △6,058百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第2四半期	13.20	—
23年3月期第2四半期	△19.68	—

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第2四半期	156,756	87,182	54.0
23年3月期	156,103	87,600	54.6

(参考) 自己資本 24年3月期第2四半期 84,638百万円 23年3月期 85,248百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	0.00	—	2.00	2.00
24年3月期	—	3.00	—	—	—
24年3月期(予想)	—	—	—	3.00	6.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	132,000	30.7	8,500	294.8	7,500	463.2	5,800	848.6	35.32

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

#### 4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料P.4「2. サマリー情報(その他)に関する事項」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

24年3月期2Q	168,775,770 株	23年3月期	168,775,770 株
----------	---------------	--------	---------------

② 期末自己株式数

24年3月期2Q	4,566,298 株	23年3月期	4,558,414 株
----------	-------------	--------	-------------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

24年3月期2Q	164,213,336 株	23年3月期2Q	164,308,310 株
----------	---------------	----------	---------------

#### ※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

#### ※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.3「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報 .....	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報 .....	3
2. サマリー情報(その他)に関する事項 .....	4
(1) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	4
3. 四半期連結財務諸表 .....	5
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	7
四半期連結損益計算書 .....	7
四半期連結包括利益計算書 .....	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	9
(4) 継続企業的前提に関する注記 .....	10
(5) セグメント情報等 .....	10
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	10
4. 補足情報 .....	11
(1) 受注及び販売の状況 .....	11
(2) 海外売上高 .....	11

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間における世界経済は、前半は欧州での金融不安をはらみながらも拡大基調で推移いたしました。後半は欧州の金融・債務問題、米国の経済対策効果の薄れ、中国の金融引き締めの影響などが顕在化し、外国為替市場が不安定な動きを見せ、世界同時株安が進行し、先行き不透明感が広がる展開となりました。

わが国の経済は、平成23年3月に発生した東日本大震災の直後は急激に落ち込んだものの、5月以降はサプライチェーンの復旧に伴い、急速に持ち直してまいりました。

工作機械業界につきましては、最大需要国の中国において減速傾向が続きましたが、欧米での受注回復、内需の着実な増加の中、緩やかな増加基調で推移いたしました。

このような状況の下、当企業グループは経営指針「グローバル70」を掲げ、グローバル販売戦略、プレミアム・プロダクト戦略、グローバル・コスト戦略を進め、業績向上に努めてまいりました。

「グローバル70」は、先進国市場の需要を確実に獲得し、新興国で新たな市場・顧客開拓を進め、海外売上高比率を70%に高めて、受注・売上の拡大、収益の拡大を図る考えであります。

グローバル販売戦略におきましては、販売・サービスネットワークのさらなる強化・充実、オークマブランドの市場への浸透を進めてまいりました。

中国において西安に9番目となる販売・サービス拠点を新設、既存の米・欧のグローバル拠点についても引き続き販売力・サービス力の強化を進めてまいりました。

平成23年4月、9月にそれぞれ開催された「中国国際机床展覧会 (CIMT)」、「欧州国際工作機械見本市 (EMO)」など海外の展示会に、強みとする高付加価値マシン、独自の智能化技術を出展、アピールするなど、オークマブランドの市場への浸透を図ってまいりました。

プレミアム・プロダクト戦略におきましては、高品質・高付加価値を基軸とした商品戦略の下、新商品の開発、新技術の開発を進めてまいりました。

新商品開発につきましては、インテリジェント複合加工機MULTUS B200 II、MULTUS B300 II、高精密立形マシニングセンタ MP-46V、5軸制御立形複合加工機VTM-1200YB、横形マシニングセンタMA-500H II、MA-600H IIなど、高付加価値マシンの開発を進めてまいりました。さらに、プレミアム・エコ「GENOS」シリーズにおいては、NC旋盤のラインアップの強化を進めてまいりました。

新技術開発については、プレミアム・プロダクトの機能・性能をさらに高める智能化技術の強化を進め、製品の差別化を図ってまいりました。智能化技術の一つである「加工ナビ」は、生産性向上に大きな効果をもたらす機能などが評価され、2010年度日本機械学会賞（技術）を受賞いたしております。

グローバル・コスト戦略におきましては、国内2工場（本社工場、可児工場）での集中生産体制の下、製造効率の向上、製造変動費の引き下げを継続して進め、収益力の強化を図ってまいりました。また海外2工場（台湾、北京）においては、生産能力拡大、製造効率向上に努めてまいりました。

このように、「グローバル70」の戦略を確実に実行してまいりました結果、当第2四半期連結累計期間における連結受注高は697億1千8百万円（前年同四半期比35.7%増）、連結売上高は644億2千6百万円（同51.0%増）、営業利益は36億9千9百万円（前年同四半期は営業損失15億5千8百万円）、経常利益は31億1千8百万円（前年同四半期は経常損失20億6千7百万円）、四半期純利益は21億6千7百万円（前年同四半期は四半期純損失32億3千4百万円）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第2四半期連結会計期間における総資産は、前連結会計年度末と比較して6億5千2百万円増加し、1,567億5千6百万円となりました。主な要因は、「たな卸資産」の増加50億7千9百万円、及び「現金及び預金」の減少35億7千5百万円によるものであります。また、負債は前連結会計年度末と比較して、10億7千万円増加いたしました。主な要因は、「支払手形及び買掛金」の増加51億4千1百万円、及び「長期借入金」の減少39億3百万円などによるものであります。純資産は、「利益剰余金」の増加22億7千6百万円、「その他有価証券評価差額金」の減少11億1千2百万円、及び「為替換算調整勘定」の減少17億6千7百万円などにより、4億1千8百万円の減少となりました。この結果、当第2四半期連結会計期間末の自己資本比率は54.0%となりました。

(連結キャッシュ・フローの状況に関する定性的情報)

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物は、前年同四半期連結累計期間と比較して30億5千2百万円減少し、363億7千6百万円となりました。営業活動によるキャッシュ・フローは、32億3千9百万円の収入となりました（前年同四半期連結累計期間は22億5千8百万円の収入）。主な資金の増加項目としては、税金等調整前四半期純利益30億2千2百万円、減価償却費21億7千3百万円、及び仕入債務の増加64億6千4百万円であります。一方、主な資金の減少項目としては、たな卸資産の増加62億6千万円であります。投資活動によるキャッシュ・フローは、7億5千1百万円の支出となりました（前年同四半期連結累計期間は12億1千5百万円の収入）。主な資金の減少項目としては、有形固定資産の取得による支出5億3千5百万円、及び無形固定資産の取得による支出6億5千7百万円であります。一方、資金の増加項目としては、定期預金の純増減額による8億8千万円であります。財務活動によるキャッシュ・フローは、54億2千万円の支出となりました（前年同四半期連結累計期間は19億2千万円の収入）。主な資金の減少項目は、長期借入金の返済による支出51億8百万円であります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

今後の世界経済につきましては、欧州の金融・債務問題の長期化、中国の金融引き締めの影響などによる景気減速の兆しが見え、日本経済においては、定着する円高、世界経済の減速が成長鈍化に繋がることが予想されます。

工作機械需要は、円高の定着、世界景気の変調の兆しを受けて、市況の先行きに不透明感が増えています。

このような状況に対し、当企業グループは、上半期で進めてきた「グローバル70」の戦略を加速し、受注・売上の拡大、収益の拡大に努めてまいります。

グローバル販売戦略におきましては、先進国での販売・サービスの強みをアジア・新興国へ展開し、受注・売上の拡大を進めてまいります。アセアン地区においては、インドネシアに現地法人を設立し、タイをコントロールセンターとした販売・サービスの強化を図ります。中国においては、販売人員の増強、販売店の拡充を図るなど、グローバルでの販売力の強化を進めてまいります。

プレミアム・プロダクト戦略におきましては、オンリーワン製品・技術の強みをさらに強化してまいります。

新商品開発につきましては、強みとする門形マシニングセンタ、5軸加工機、複合加工機、横形マシニングセンタなどの製品力をさらに強化し、グローバル市場に投入、顧客拡大を進めてまいります。また、複合加工機用NC装置として新たに「OSP-P300S」をリリースし、性能、操作性を一段と高め、競争力強化を図ります。高性能でありながら価格を市場ニーズにマッチさせたプレミアム・エコ「GENOS」シリーズについては、ラインナップを完成させ、新たなユーザー層の開拓を進めてまいります。

新技術開発につきましては、熱変位精度安定性を実現する「サーモフレンドリーコンセプト」、干渉・衝突を防止する「アンチクラッシュシステム」、加工時の振動を自動的に抑制し、最適加工を実現する「加工ナビ」など、独自の知能化技術をさらに進化させ、製品競争力の強化、差別化の強化を図ってまいります。

グローバル・コスト戦略におきましては、国内生産の強化、海外生産の拡大を進めてまいります。国内生産の強化につきましては、当企業グループが掲げる「高効率スピード生産」に向けて、本社工場（愛知県）、可児工場（岐阜県）において、製造効率の向上、生産リードタイムの短縮を加速し、収益力のさらなる強化を図ってまいります。

海外生産の拡大につきましては、先行する台湾・北京での生産をさらに強化し、生産能力の拡大、収益の向上を図ってまいります。

台湾の生産拠点（大同大隈股份有限公司）では、プレミアム・エコ「GENOSシリーズ」の生産能力の拡大を進め、また、プレミアム・プロダクトのユニット生産基地として強化してまいります。

北京の生産拠点（北一大隈（北京）机床有限公司）では、巨大市場である中国での消費地生産を強みとして、製造効率向上、生産能力向上を進めてまいります。特に省人化・自動化ニーズに対応する横形マシニングセンタの生産能力を上げ、拡大する需要を確実に捉えてまいります。

このように、「グローバル70」の戦略を加速して進め、定着する円高、市況の変化に対応し、今期の収益の拡大、来期のさらなる成長戦略へ繋げてまいります。

以上を踏まえ、平成23年4月28日に公表いたしました業績予想を修正しております。

通期の連結業績予想の数値につきましては、下表のとおりであります。

	売上高 (百万円)	営業利益 (百万円)	経常利益 (百万円)	当期純利益 (百万円)	1株当たり 当期純利益 (円)
平成24年3月期（修正後の予想）	132,000	8,500	7,500	5,800	35.32
平成23年3月期（実績）	100,966	2,152	1,331	611	3.72
増減率	30.7%	294.8%	463.2%	848.6%	849.5%

修正後の予想の前提となる為替レートは、通期で1ドル=78円、1ユーロ=109円としております。

なお、具体的内容につきましては、本日（平成23年10月31日）公表しております「平成24年3月期第2四半期連結累計期間の業績予想値と実績値との差異及び平成24年3月期通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

## 2. サマリー情報(その他)に関する事項

### (1) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

#### ① 税金費用の計算

当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	42,181	38,606
受取手形及び売掛金	26,735	26,057
有価証券	—	299
たな卸資産	34,472	39,551
その他	4,661	7,167
貸倒引当金	△471	△444
流動資産合計	107,579	111,238
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	15,006	14,662
その他(純額)	12,088	11,855
有形固定資産合計	27,095	26,517
無形固定資産		
投資その他の資産	2,424	2,258
投資有価証券	15,251	13,639
その他	3,817	3,113
貸倒引当金	△64	△9
投資その他の資産合計	19,004	16,742
固定資産合計	48,524	45,518
資産合計	156,103	156,756

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	22,957	28,098
短期借入金	129	124
1年内返済予定の長期借入金	9,509	8,312
未払法人税等	596	467
賞与引当金	1,235	1,958
役員賞与引当金	19	22
その他の引当金	248	271
その他	6,932	7,749
流動負債合計	41,627	47,005
固定負債		
社債	5,000	5,000
長期借入金	18,237	14,334
退職給付引当金	881	905
その他の引当金	85	94
負ののれん	104	19
その他	2,565	2,214
固定負債合計	26,875	22,568
負債合計	68,503	69,573
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	18,000	18,000
資本剰余金	41,673	41,673
利益剰余金	34,392	36,668
自己株式	△3,242	△3,248
株主資本合計	90,823	93,093
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	946	△166
為替換算調整勘定	△6,520	△8,287
その他の包括利益累計額合計	△5,574	△8,454
少数株主持分	2,351	2,544
純資産合計	87,600	87,182
負債純資産合計	156,103	156,756

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 四半期連結損益計算書  
 第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
売上高	42,668	64,426
売上原価	33,692	47,434
売上総利益	8,976	16,991
販売費及び一般管理費	10,534	13,292
営業利益又は営業損失(△)	△1,558	3,699
営業外収益		
受取利息	68	73
受取配当金	100	128
持分法による投資利益	31	8
その他	425	336
営業外収益合計	626	546
営業外費用		
支払利息	420	320
為替差損	444	428
その他	269	379
営業外費用合計	1,135	1,128
経常利益又は経常損失(△)	△2,067	3,118
特別損失		
投資有価証券評価損	765	—
その他	—	95
特別損失合計	765	95
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△2,833	3,022
法人税等	310	692
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△3,144	2,329
少数株主利益	89	162
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△3,234	2,167

四半期連結包括利益計算書  
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△3,144	2,329
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△1,233	△1,110
為替換算調整勘定	△1,673	△1,542
持分法適用会社に対する持分相当額	△7	△5
その他の包括利益合計	△2,914	△2,658
四半期包括利益	△6,058	△328
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△6,090	△521
少数株主に係る四半期包括利益	31	192

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△2,833	3,022
減価償却費	2,660	2,173
負ののれん償却額	△248	△85
貸倒引当金の増減額(△は減少)	70	△59
賞与引当金の増減額(△は減少)	60	735
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	—	4
退職給付引当金の増減額(△は減少)	13	△270
受取利息及び受取配当金	△169	△201
支払利息	420	320
為替差損益(△は益)	249	△1,688
持分法による投資損益(△は益)	△31	△8
投資有価証券評価損益(△は益)	765	—
売上債権の増減額(△は増加)	△4,533	418
たな卸資産の増減額(△は増加)	△1,142	△6,260
仕入債務の増減額(△は減少)	8,074	6,464
その他	△848	△390
小計	2,509	4,173
利息及び配当金の受取額	205	232
利息の支払額	△448	△330
法人税等の支払額	△675	△838
法人税等の還付額	668	2
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,258	3,239
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有価証券の取得による支出	—	△299
有形固定資産の取得による支出	△405	△535
有形固定資産の売却による収入	2,175	1
定期預金の純増減額(△は増加)	—	880
無形固定資産の取得による支出	△472	△657
投資有価証券の取得による支出	△22	△10
その他	△59	△129
投資活動によるキャッシュ・フロー	1,215	△751
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△133	22
長期借入れによる収入	6,507	7
長期借入金の返済による支出	△4,419	△5,108
リース債務の返済による支出	△8	△7
自己株式の売却による収入	0	—
自己株式の取得による支出	△24	△5
少数株主への配当金の支払額	△0	△0
配当金の支払額	—	△328
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,920	△5,420
現金及び現金同等物に係る換算差額	△791	△61
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	4,603	△2,994
現金及び現金同等物の期首残高	34,825	39,053
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	—	317
現金及び現金同等物の四半期末残高	39,428	36,376

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

前第2四半期連結累計期間(自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)

(単位：百万円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注) 2
	日本	米州	欧州	アジア・パ シフィック	計		
売上高							
(1) 外部顧客への売上高	24,927	9,270	5,086	3,383	42,668	—	42,668
(2) セグメント間の内部売上高 又は振替高	11,467	23	38	806	12,337	(12,337)	—
計	36,395	9,294	5,125	4,190	55,005	(12,337)	42,668
セグメント損益	△2,133	336	△252	191	△1,858	299	△1,558

(注) 1. セグメント損益の調整額299百万円は、未実現利益の消去他であります。

2. セグメント損益は、四半期連結損益計算書の営業損益と調整を行っております。

当第2四半期連結累計期間(自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)

(単位：百万円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注) 2
	日本	米州	欧州	アジア・パ シフィック	計		
売上高							
(1) 外部顧客への売上高	35,948	15,389	8,373	4,715	64,426	—	64,426
(2) セグメント間の内部売上高 又は振替高	23,762	39	70	2,391	26,264	(26,264)	—
計	59,711	15,428	8,444	7,107	90,691	(26,264)	64,426
セグメント利益	3,233	1,177	74	396	4,882	(1,182)	3,699

(注) 1. セグメント利益の調整額1,182百万円は、未実現利益の消去他であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

4. 補足情報

(1) 受注及び販売の状況

① 受注状況

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)		当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	
	受注高	受注残高	受注高	受注残高
NC旋盤	15,069	8,520	22,879	14,632
マシニングセンタ	23,773	19,194	30,184	24,710
複合加工機	10,189	5,350	13,398	6,832
NC研削盤	693	606	1,627	1,919
その他	1,666	1,136	1,627	1,233
合計	51,392	34,808	69,718	49,328

(注) 受注高、受注残高には消費税等は含まれておりません。

② 販売実績

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)		当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	
	売上高	構成比(%)	売上高	構成比(%)
NC旋盤	12,446	29.2	18,939	29.4
マシニングセンタ	18,904	44.3	28,865	44.8
複合加工機	9,281	21.7	13,592	21.1
NC研削盤	804	1.9	1,289	2.0
その他	1,231	2.9	1,740	2.7
合計	42,668	100.0	64,426	100.0

(注) 売上高には消費税等は含まれておりません。

(2) 海外売上高

前第2四半期連結累計期間(自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)

	米州	欧州	アジア・ パシフィック	計
I 海外売上高(百万円)	9,299	5,151	11,096	25,546
II 連結売上高(百万円)	—	—	—	42,668
III 連結売上高に占める 海外売上高の割合(%)	21.8	12.1	26.0	59.9

当第2四半期連結累計期間(自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)

	米州	欧州	アジア・ パシフィック	計
I 海外売上高(百万円)	16,146	8,373	16,813	41,333
II 連結売上高(百万円)	—	—	—	64,426
III 連結売上高に占める 海外売上高の割合(%)	25.1	13.0	26.1	64.2